

今週の活動から



4月20日の愛甲石田駅宣伝から熊本地震の救援募金の訴えを始めました。(上:左・釘丸久子議員、右・栗山香代子議員)



3月末の金田での産業廃棄物置き場の火災。丸一日燃えて鎮火した後も、周辺の住民に不安を与えています。現在はブルーシートで覆われていますが、県の指導で「処理計画書」を出すことになっています。党議員団として日本共産党県議団に、早期処理について県の指導を強めるよう要請しました。

(下:栗山香代子議員)

睦合西公民館で議会報告会

未病センターで脳年齢測定を

4月11日(月)、睦合西公民館で党議員団の議会報告会がありました。昨年7月の市議選後、最初の議会報告会です。

初めに、釘丸議員からまち・ひと・しごと創生総合戦略や政務活動費について、2月議会での補正予算や新年度予算、陳情審議の様子、一般質問の内容などを報告。



栗山議員は、28名の議員のうち7名が入替わったの議会の状況を話しました。

その後は、参加者のみなさんと自由に意見交換。

◎「未病センター」とは？

今年4月1日に厚木市保健センター1階のエントランスホールに「未病センターあつぎ」、通称名「健康度見える化コーナー」が開設されました。血圧計など5つの機器があり、保健師が使い方を説明してくれます。

血管年齢計は血管の柔軟性などで評価。骨波形測定器は手首を超音波で調べ骨の健康度を測ります。体組成計では一度に体重、体脂肪率、腹囲まで測れます。裸足でないと測れません。

脳年齢測定器では、

画面に出てきた数字を順番に押していくと、元気度・活用度・すばやさについてコメントされ、「あなたの脳年齢は〇〇歳です」と、総合評価が出ます。測定は無料です。

昨年12月議会の補正予算で550万円が計上され、機器を購入しました。

神奈川県は健康寿命日本一に向けた取り組みの中で、身近な場所での未病の概念を知り「未病を治す」取り組みを継続して行う事ができる環境づくりの一環として、未病センター構想を進めています。

◎常任・特別委員会の決め方は？

厚木市議会は4つの常任委員会があります。総務企画、市民福祉、環境教育、都市経済の各常任委員会は7名で構成されています。議員の定数は28ですから、全議員が一つの常任委員会に所属。4人以上の会派は、ま

厚木市から益城町に支援物資

熊本地震では、益城町が大変大きな被害を受けました。益城町も厚木市も全国朝市サミット協議会のメンバーです。益城町からの要請で支援物資を送ることになり、4月19日正午、トラックが出発しました。市の職員3人は、先に新幹線で出発して現地でレンタカーで移動するそうです。



支援物資は、飲料水、毛布、トイレットペーパー、肌着セット、生理用品、おむつ、粉ミルク、そして、簡易トイレ。ぼうさいの丘公園防災備蓄倉庫にある物資をトラックに積んで、運転手さんが交代で15時間走るとのこと。現地は混乱しているという話もあります。届いた物資が、できるだけ早く避難している方のもとに届きますように。

厚木市は神奈川県トラック協会県央サービスセンターと災害協定を結んでいます。いつ起きるかわからない災害では、日頃のいろいろな関係が重要になるのだと、改めて思います。

ず4常任委員会に一人ずつ入ります。あとは会派ごとに、一人ずつ入っていきます。

また、議会運営委員会と特別委員会(厚木市立病院、広報広聴)等は、会派の人数に応じて割り当てられます。

毎年8月に委員会等の構成を決めますが、人数の割り振りが決まると、会派ごとに誰がどこに所属するかを決めます。直後の本会議で決定となります。

この他に、次のような意見や質問がありました。

◎28名の議員それぞれの活動が見えない。

◎マイナンバー制度への対応はどうしたらいいの。

◎子どもに関する事件・事故が多い。児童相談所が忙しすぎるのか。

◎高齢者に関すること。など、市・県・国のレベルでの法令に関わっての様々な事柄が話題になりました。

あれこれ話していると、身近な事柄が個人だけの問題ではなく、国政と密接につながっているのだとわかります。党議員団への市の答弁・回答でも「国の動向を見守っていく」との文言が多くあります。

私たち市民も、国政の動きをしっかり見て、働きかけていくことが重要です。